

アライの原点ダートトラック

◆現在では、世界中のあらゆるカテゴリーのトップレーサーに認知されているアライですが、その原点は、アメリカのレースシーンにあります。

◆70年代半ば、社内の品質管理体制を一新し、自社製品の品質に自信を深めたアライは、世界中の人々にその品質を認めもらう方法を模索し、その第一歩として、最も激しいレースを繰り広げていた当時のアメリカのレースシーンにおいて、使

用してもらうことを目標としました。

◆しかし、70年代半ばのアメリカでは、当時はまだアメリカ国内でしかりとしたヘルメットを作っていた有名メーカーの独占状態で、アライには、とてもなく大きな壁として立ちふさがりました。最初にテイタナのスピードウェイで、アライを使ってみないかと、レーサーにサンプルを手渡した時など、ヘルメットの剛性を確かめようとしたのか、横から踏み

潰すように、足で踏みつけ、内装を引き剥がし、なかなか良く出来ているようだと言って、突き返されたというエピソードも残っている程です。

◆そのような状況の下でも、あきらめることなくアライの品質の高さを説明しているうちに、アライを使ってみようという第一号のライダーが現れました。ダートトラックのスターライダー、若干19歳のテッド・ブーディー選手です。ハーレーのワークスライダーで



もあったブーディー選手は、アライをすっかり気に入ってくれ、他のライダーにもアライの品質の高さを自慢し、その後、スティーブ・エクランド、ランディー・ゴスなど、チャンピオンライダーも続々とアライを使用することになったのです。

◆当時のAMAシリーズは、ダート23、ロード5の計28戦で争われていて、マイルレースの時速200キ

ロでの迫力溢れるドリフトは、後にロードレースで世界的スターになる選手を数多く輩出しました。その中には、フレディ・スペンサー、ケビン・シュワントツも含まれています。

◆現在では、ロードは分かれ、ダートのみで、チャンピオンシップを争っていますが、激しい争いは相変わらず行われています。クリス・カーラ、ケビン・アーサ

ー、ジョン・ジェイ・スプリングティーンなど、30名以上のライダーがアライのGOTHを使用しています。

◆そして、アライでは、アライの原点とも言えるダートトラック用のモデルを、GOTHをベースに開発しています。アメリカンライダーが気に入るような、ごくつまらないモデルとして登場します。近日発表させていただきます。

第33回 TOKYO MOTOR SHOW開催! ご来場お待ちしております。

2輪車・乗用車のショーとしては、20世紀最後のビッグイベント東京モーターショーが迫ってきました。ARAIは今回、ニューモデルや主力のラインナップを展示出展します。ご期待ください。では、幕張でお会いしましょう。



- 開催期間: 10月23日～11月3日
- 開催時間: 平日10:00～19:00
土日・祝日9:30～19:00
- 会場: 千葉県千葉市
日本コンベンションセンター
(幕張メッセ)